



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2915 URL <https://www.kenkomayo.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 島本 国一

問合せ先責任者（役職名） 取締役 副社長 （氏名） 寺島 洋一 TEL 03-5941-7682

半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月11日

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	46,455	6.1	3,194	308.0	3,272	286.3	2,246	314.1
2024年3月期中間期	43,763	7.4	782	26.2	847	31.8	542	12.4

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,082百万円（98.0%） 2024年3月期中間期 1,051百万円（28.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	140.61	—
2024年3月期中間期	33.65	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	65,443	40,771	62.3
2024年3月期	67,370	38,978	57.9

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 40,771百万円 2024年3月期 38,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2025年3月期	—	19.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	3.7	4,500	52.6	4,650	50.0	3,185	16.4	197.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社、 除外 一社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	16,476,000株	2024年3月期	16,476,000株
2025年3月期中間期	487,122株	2024年3月期	500,665株
2025年3月期中間期	15,979,849株	2024年3月期中間期	16,125,414株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年11月20日(水)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等の注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(継続企業的前提に関する注記)	13
(収益認識関係)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)におけるわが国の経済は、飲食や旅行などのサービス消費やインバウンド需要の好調さを継続している一方で、外国為替市場における円安傾向は強まったまま推移し、ウクライナ情勢の長期化などもあり不確実性が残る状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループは理念体系の再構築、重要課題を見直し、マテリアリティを特定し、これからも社会に必要とされる存在価値の高い信頼される企業であり続けられるよう、新たな中長期経営計画『KENKO Vision 2035』をスタートしております。

持続的な成長のための抜本的改革と企業価値の更なる向上を基本方針とし、経営基盤の強化とともに4つの基本戦略を実行してまいります。

<企業理念(ミッション+パーパス)>

- ・守るべきもの 心身(こころ・からだ・いのち)と環境
- ・使命 食を通じて世の中に貢献する。

<ビジョン(目指すべきもの)>

『サラダ料理で世界一になる』

<基本戦略>

- ・成長戦略 : 既存事業の収益基盤強化、ブランド構築の実行
事業ポートフォリオを再構築し、事業環境の変化に適応
- ・スマート化 : DXを通じた企業改革と生産性の向上を図る
合理化、効率化、成長するための事業拠点の再編
- ・人材投資 : グローバル企業化、働き方改革としてのダイバーシティを推進
人材育成の強化、キャリアプランが実現できる施策の検討
- ・サステナビリティと社会的責任
: 環境問題への取組みと地域社会への貢献活動を推進
グループ従業員の健康と働きがいに注力した健康経営を目指す

<マテリアリティ>

- ・地球環境への配慮
- ・食の安全・安心・安定の追求
- ・ガバナンスの強化
- ・人権と多様性を尊重した人材育成
- ・ライフスタイルの変化への貢献

当中間連結会計期間における売上高及び利益の概況は以下のとおりであります。

(売上高)

売上高につきましては、前期は高病原性鳥インフルエンザ感染拡大により、タマゴ加工品を休売もしくは販売制限をさせていただいた状況でした。今期は、供給体制が回復しタマゴ加工品の売上高の回復が進んだことや、昨年7月に実施したロングライフサラダ類、和惣菜等の価格改定の効果により、前年同期比で増収となりました。

(利益)

利益につきましては、価格改定の効果やタマゴ加工品の数量回復による生産効率の改善等により、前年同期比で増益となりました。

当中間連結会計期間の経営成績は、連結売上高は46,455百万円(前年同期比2,691百万円の増加、6.1%増)、連結営業利益は3,194百万円(前年同期比2,411百万円の増加、308.0%増)、連結経常利益は3,272百万円(前年同期比2,424百万円の増加、286.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は2,246百万円(前年同期比1,704百万円の増加、314.1%増)となりました。

当中間連結会計期間における各報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(調味料・加工食品事業)

サラダ・総菜類につきましては、小容量サイズ商品は伸長しましたが、主力商品のポテトサラダ等の減少により減収となりました。

タマゴ加工品につきましては、高病原性鳥インフルエンザの感染拡大の影響がなくなり、売上高の回復が進んだことや、たまごサラダが好調に推移したことにより増収となりました。

マヨネーズ・ドレッシング類につきましては、価格改定効果や量販店向けと外食向けのマヨネーズの売上が増加いたしました。

この結果、当中間連結会計期間におけるセグメント売上高は36,721百万円(前年同期比2,501百万円の増加、7.3%増)、セグメント利益は2,670百万円(前年同期比2,353百万円の増加、744.0%増)となりました。

(総菜関連事業等)

総菜関連事業等における経営環境は、価格改定の効果や高単価品の開発・販売、既存取引先への商品カテゴリー拡大等を進めたことにより売上高が増加し、利益については微増となりました。

この結果、当中間連結会計期間におけるセグメント売上高は9,300百万円(前年同期比209百万円の増加、2.3%増)、セグメント利益は448百万円(前年同期比4百万円の増加、1.0%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、65,443百万円（前連結会計年度比1,927百万円の減少、2.9%減）となりました。これは主に売掛金が1,256百万円、機械装置及び運搬具（純額）が581百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、24,672百万円（前連結会計年度比3,719百万円の減少、13.1%減）となりました。これは主に買掛金が2,018百万円、未払金が1,077百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、40,771百万円（前連結会計年度比1,792百万円の増加、4.6%増）となりました。

(自己資本比率)

当中間連結会計期間末における自己資本比率は、62.3%（前連結会計年度比4.4ポイント増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、15,940百万円（前連結会計年度末比211百万円の増加）となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,531百万円（前年同期比1,626百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益3,267百万円、売上債権の増減額1,472百万円の増加要因、仕入債務の増減額2,049百万円、未払金の増減額868百万円の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、488百万円（前年同期比60百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出303百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、832百万円（前年同期比366百万円の減少）となりました。これは主に配当金の支払額318百万円、長期借入金の返済による支出299百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月5日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,729	15,940
受取手形	292	75
売掛金	16,202	14,946
商品及び製品	2,679	2,692
仕掛品	11	14
原材料及び貯蔵品	1,309	1,474
その他	349	487
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	36,575	35,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,066	9,727
機械装置及び運搬具(純額)	6,135	5,553
土地	6,021	6,021
建設仮勘定	2	20
その他(純額)	274	260
有形固定資産合計	22,500	21,583
無形固定資産	1,308	1,436
投資その他の資産		
投資有価証券	5,484	5,313
繰延税金資産	167	167
その他	1,363	1,341
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	6,986	6,792
固定資産合計	30,795	29,812
資産合計	67,370	65,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,254	11,236
電子記録債務	1,066	1,035
1年内返済予定の長期借入金	506	467
未払法人税等	921	1,064
その他の引当金	476	423
その他	5,641	4,287
流動負債合計	21,866	18,515
固定負債		
長期借入金	3,815	3,554
退職給付に係る負債	418	432
その他	2,290	2,169
固定負債合計	6,524	6,156
負債合計	28,391	24,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,424	5,424
資本剰余金	5,691	5,699
利益剰余金	27,064	28,992
自己株式	△808	△786
株主資本合計	37,372	39,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,537	1,366
為替換算調整勘定	42	54
退職給付に係る調整累計額	26	21
その他の包括利益累計額合計	1,606	1,442
純資産合計	38,978	40,771
負債純資産合計	67,370	65,443

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	43,763	46,455
売上原価	35,684	35,606
売上総利益	8,079	10,848
販売費及び一般管理費	7,296	7,654
営業利益	782	3,194
営業外収益		
持分法による投資利益	16	25
受取利息及び配当金	20	15
その他	64	86
営業外収益合計	101	127
営業外費用		
支払利息	26	22
その他	10	26
営業外費用合計	37	49
経常利益	847	3,272
特別利益		
補助金収入	1	1
その他	-	1
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産除却損	1	3
その他	-	4
特別損失合計	1	7
税金等調整前中間純利益	847	3,267
法人税等	304	1,020
中間純利益	542	2,246
親会社株主に帰属する中間純利益	542	2,246

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	542	2,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	475	△171
退職給付に係る調整額	△2	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	35	12
その他の包括利益合計	509	△164
中間包括利益	1,051	2,082
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,051	2,082

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	847	3,267
減価償却費	1,379	1,155
引当金の増減額(△は減少)	△37	△52
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△30	24
受取利息及び受取配当金	△20	△15
支払利息	26	22
補助金収入	△1	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△3,542	1,472
棚卸資産の増減額(△は増加)	△483	△180
仕入債務の増減額(△は減少)	4,065	△2,049
未払金の増減額(△は減少)	573	△868
その他	498	△424
小計	3,274	2,351
利息及び配当金の受取額	20	15
利息の支払額	△26	△22
補助金等の受取額	1	1
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△112	△814
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,157	1,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△138	△303
無形固定資産の取得による支出	△283	△197
投資有価証券の取得による支出	△5	—
その他	△0	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△427	△488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△723	△299
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△144	△318
割賦債務の返済による支出	△325	△214
その他	△3	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,198	△832
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,531	211
現金及び現金同等物の期首残高	12,289	15,729
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,820	15,940

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社における税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,220	9,090	43,310	453	43,763	—	43,763
セグメント間の 内部売上高又は振替高	504	3,552	4,056	—	4,056	△4,056	—
計	34,724	12,642	47,367	453	47,820	△4,056	43,763
セグメント利益	316	443	760	0	760	22	782

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額22百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,721	9,300	46,021	433	46,455	—	46,455
セグメント間の 内部売上高又は振替高	449	3,557	4,006	—	4,006	△4,006	—
計	37,170	12,857	50,028	433	50,461	△4,006	46,455
セグメント利益	2,670	448	3,118	1	3,120	74	3,194

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額74百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項(報告セグメントごとの利益又は損失に関する事項)

2024年5月22日に公表いたしました中長期経営計画『KENKO Vision 2035』では、経営指標を連結営業利益に定めております。これに伴い、従前セグメント利益につきましては、連結経常利益を基礎に記載し、連結損益計算書の経常利益との調整を行っておりましたが、当中間連結会計期間より連結営業利益を基礎に記載し、中間連結損益計算書と調整を行うことに変更しております。なお、前中間連結会計期間に係る「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の方法により記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年7月22日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式13,577株の処分を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が21百万円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が786百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループの売上高は、顧客との契約から生じる収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりであります。

なお、前中間連結会計期間において、「サラダ・総菜類」に含めていた「チルドポテト」は、当中間連結会計期間より「その他」に含めることといたしました。この変更を反映させるため、前中間連結会計期間の組替えを行っております。この結果、前中間連結会計期間において、「サラダ・総菜類」10,888百万円に含めていた「チルドポテト」135百万円は、「その他」861百万円に含めるよう組み替えております。

前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計		
サラダ・総菜類	10,752	—	10,752	—	10,752
タマゴ加工品	8,951	—	8,951	—	8,951
マヨネーズ・ドレッシング類	13,654	—	13,654	—	13,654
フレッシュサラダ・和惣菜等	—	9,090	9,090	—	9,090
その他	861	—	861	453	1,314
外部顧客への売上高	34,220	9,090	43,310	453	43,763

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業の売上高を表しております。

当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計		
サラダ・総菜類	10,658	—	10,658	—	10,658
タマゴ加工品	11,360	—	11,360	—	11,360
マヨネーズ・ドレッシング類	13,825	—	13,825	—	13,825
フレッシュサラダ・和惣菜等	—	9,300	9,300	—	9,300
その他	876	—	876	433	1,309
外部顧客への売上高	36,721	9,300	46,021	433	46,455

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業の売上高を表しております。